



熊本県教育会館ニュース

発行所
熊本市中央区九品寺1丁目11-4
熊本県教育会館事務局
TEL 096-372-3800
編集・発行 島田 末吉
印刷所 ホープ印刷株式会社

- 2・3面**
熊本地震の復旧・復興に向け教育会館は共に歩みます
- 会館共済 第34次キャンペーン
 - 復興支援事業
 - 図書寄贈の状況
 - 教育文化事業の案内
- 4面**
平成29年度事業報告

「学校に元気を！」

理事長 島田末吉

復興支援事業の一環として、今年も図書寄贈に各学校を訪問してきました。ちょうど運動会の練習期間ということで、校長先生もジャーシ姿で草刈りや準備等で汗びっしょりになっておられました。先生方も忙しく、昼休みや放課後、職員室で休憩されている様子はありませんでした。学校での「働き方改革」を本当に進めないと、結局は子どもたちに影響するのではと心配しました。

熊本市をはじめ県下の高校、小中学校でも何らかの多忙化対策が進められようとしています。教職員、保護者の意識改革も必要だと文科省は言っています。

そういう中で、先生方が安心して働き続けられるように、今年度は「会館共済」の内容を充実しました。団体保険としてのメリットを生かしつつ相互扶助の精神のもと様々な教育文化事業、教育支援を行っています。

復興寄席の取り組みでは、落語を低学年の小学生在が理解するのかな？と不安もありましたが、なんと低学年がよく笑いました。その笑いは落語家の表情とか声に反応したのです。高学年となるとさすが落語の内容で笑っていました。「復興は笑いから始まる」という柳家さん唄師匠の言葉の通りでした。今年度は阿蘇PTA連合会のご努力で紹介された学校を中心に実施します。子どもたち、そして地域もとても楽しみにしているようです。

これからも教育会館は、熊本地震からの復旧・復興のために微力ながら息の長い支援を続けていきたいと思えます。

熊本地震からの本格的な復旧・復興に向けて 平成30年度の教育会館事業の展開を図ります

熊本地震から2年余りがたちました。復旧・復興に向けた取り組みは、これからは本番になってくると考えます。教育会館も微力ながら、共に進んでいきます。

さて教育会館は、今年度は評議員、役員の見直し期ではありませんが、年度末の定期異動等の関係で若干の改選がありました。2

一般財団法人熊本県教育会館

評議員・役員(理事・監事)体制 (平成30年5月31日から)

氏名	性別	年齢	区分(所属等)	備考
大塚 敏彦	男	57	全体区分(熊本県教育庁)	
上村 鋭二	男	57	〃(熊本市教育委員会)	
馬場 正文	男	61	〃(熊本県小中学校長会)	
小林 博	男	63	〃(熊本県公立高等学校長会)	
松本 克己	男	58	地域区分(一の宮小学校)	
杉本 弘美	女	58	〃(慶徳小学校)	
上杉 波	女	57	〃(西合志中学校)	
上杉謙一郎	男	51	〃(南ヶ丘小学校)	評議員会会長
山口恵二郎	男	59	〃(盲学校)	
石原 哲也	男	50	〃(八代高等学校)	評議員会副会長
田川 勝也	男	75	〃(小中学校退職者)	
小林 敏夫	男	67	〃(県立学校退職者)	
岩田 智子	女	56	全体区分(元理事長、県議会議員)	
平江 佳幸	男	57	〃(前理事長、三加和中学校)	
赤塚 敏	男	68	〃(元副理事長)	
今村 良博	男	57	地域区分(熊本県教職員組合)	専務理事
松村 勉	男	58	〃(北部東小学校)	
島田 末吉	男	63	〃(熊本県教職員組合)	理事長
青木 栄	男	56	〃(熊本県高等学校教職員組合)	副理事長
水谷 博子	女	55	〃(玉名高等学校)	
光永 新治	男	70	〃(小中学校退職者)	
正林 民雄	男	68	〃(県立学校退職者)	
吉永賢一郎	男	41	全体区分(公認会計士)	
竹田 妙子	女	58	地域区分(菊陽北小学校)	
須藤 哲郎	男	52	〃(三角中学校)	
名島 弘和	男	68	〃(小中学校退職者)	代表監事
嶋田 久義	男	65	〃(県立学校退職者)	

評議員 12名(定款の定数は10名以上20名以内)
役員: 理事 10名(定款の8名以上12名以内) 監事 5名(同4名以上6名以内)
※年齢、所属は平成30年4月1日現在

月並びに5月に開催されました理事会並びに評議員会で新体制が決められました。評議員では西村登氏、久木田絹代氏、青木栄氏、光永新治氏が退任され、馬場正文氏、上杉波氏、石原哲也氏、田川勝也氏が就任されました。また理事では石井雅臣氏、西嶋正氏が退任され、青木栄氏が就任、監事では石原哲也氏が退任されました。今年度は評議員12名、理事10名、監事5名の組織体制で臨んでいきます。

また今年度の事業計画・予算の承認もなされました。

熊本県教育会館 平成30年度事業計画(概要・抜粋)

基本方針

- 熊本地震後に対応した会館の再建を優先課題として、経営の安定化を目指します。
- 一般財団法人としての機関連営はコンプライアンスを基本とし定款の規定に従います。
- 教職員が教育に専念できる環境づくりとして、教職員を支える一福利厚生関係団体「相互の連携を図ります」。

1 会館の財政・管理運営

熊本地震後に対応した再建については、熊本県中小企業グループ補助事業との関連も踏まえ、再建委員会での協議をもとに中長期的な事業計画の策定に取り組みます。

教育会館の安全管理のため、関係機関と連絡を密に行い保守体制を堅持しつつ、機械警備の導入等の安全保安の向上と経費削減のため見直しを進めます。

事務受託事業である金融機関等の収納等の業務については、熊本県教職員厚生情報センターとの連携のもと適正・迅速にできるように努めます。

2 保険共済事業

募集キャンペーン対応は、教職員にとつて「親しみやすく、身近な一もの」となるように改善を続けます。また今年度も復興支援キャンペーンとして取り組みます。

教育関係者の要望をもとに、制度検討を進めます。

3 教育文化事業

図書寄贈は、復興支援のための50校で実施します。

会館(学校)寄席は、阿蘇を中心に10月に開催します。これは熊本県グループ補助復興支援事業ともなります。また「熊本県かるた協会」「日本将棋連盟熊本県支部」の活動に協賛し、支援を行います。

教職員の電話相談室「レモングラス」、「くまもと親と子と教職員の教育相談室」への支援を引き続き行います。熊本県グループ補助復興支援事業として「夏休み教育労働相談」を実施します。

熊本県教育会館は皆様方と共に歩みます!!

会館共済 第34次キャンペーン 大変お世話になりました

復興支援キャンペーンとして取り組みました。 5月7日(月)～6月1日(金)

学校での説明会の様子

みなさんのやさしい気持ちから生まれた『会館共済』もおかげさまで34年を迎えました。今年度は『会館共済』の制度改定もあり、多くの先生と面談させていただくことができました。学校行事等で大変ご多忙な中、会館共済キャンペーンにご協力いただきましてありがとうございました。



『会館共済』では、昨年に引き続き、熊本地震の復興支援に少しでもお役に立てるよう熊本城復興(修復)のため寄附します。平成30年9月1日(更新時)の『会館共済』加入者数に応じた人数確定後となりますので、秋ごろを予定しております。(次回の「教育会館ニュース第89号」で報告させていただきます。)

『会館共済』は、先生方からのご意見やご要望をもとに、これからも先生方の生活保障の柱としてお役に立てるよう努めてまいります。今後ともよろしくお願いたします。

制度改定のご案内

(平成30年9月より)

I型
生活保障

★保険料率の改定等により、掛金が安くなります!
(H30.8差引より)

★本 人 4,000万円コース、4,500万円 **新設!**
配偶者 1,000万円コース **新設!**

更新手続きの締切は過ぎましたが、中途加入や変更等ございましたら、教育会館までご連絡をお願いいたします。
(会館共済担当: 江浦・杉)

会館共済傷害プラン あなたの未来をサポートします

今年も多数ご加入いただき誠にありがとうございます。「階段で転倒してケガ」「スポーツ中のケガ」等(傷害総合保険)や「自転車運転中の加害事故」等(個人賠償責任特約)は、毎日の安心のための必須アイテムであると自負しております。



今年の加入手続き期間は終了いたしました。中途での加入も可能です(保険対象の方が69歳まで)。希望される方は、会館共済担当者までご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。

※取扱いにつきましては小中学校の教職員限定となります。

ヨ一ガ教室

教職員及び教育会館周辺の地域住民対象の「ヨ一ガ教室」は、7年目を迎えて好評で、参加者も増えています。



原則 毎月第1木曜 10時30分～12時00分
第3木曜 18時30分～20時00分 の2回行っています。
講師は日本ヨ一ガ学会認定准教授の木原美保先生です。とても楽しいですよ。

ヨ一ガを楽しめる先生方や地域の方々の親睦の場にもなっており毎回和気あいあいとした雰囲気です。
※今年度の募集は終了しました。

復興支援
夏休み

教育・労働相談

小学生・中学生・高校生・大学生・一般の方などため

8月28日(火)～9月28日(金) (毎週 火・水・金)
電話相談 096-372-1525

面談 場所: 熊本県教育会館 3階 教育相談室(予約可)

主催: (一財)熊本県教育会館・くまもと親と子と教職員の教育相談室

先生方の相談については下記でも対応できます。

◎「教職員の電話相談室 レモングラス」(教職員対象)

096-372-3810 毎週火曜日 19時～22時



復興支援事業として 教育会館寄席 笑いを活かす!!

復興支援事業として教育会館寄席を実施します。今年度は熊本地震で被害の大きかった地域で開催します。

開催校

- 10月22日(月) 阿蘇中央高等学校
- 10月23日(火) 阿蘇西小学校 阿蘇中学校
- 10月24日(水) 山西小学校 白水小学校

出演者の皆さん

- 落語 柳家さん喬 師匠
- 落語 柳家喬之助 師匠
- 太神楽 翁家 和助 師匠
- 三味線 柳沢きょう 師匠



昨年の様子
(会場: 滝尾小学校)

熊本地震からの本格的な復旧・復興に向けて

図書寄贈 (図書カード)

復興支援のため、微力ながらも、平成29年度・30年度の2年間で **100校**の学校に寄贈しました。

平成29年度 (2017年度)

地区	寄贈校
菊池	合志中学校 大津小学校 菊陽北小学校
阿蘇	阿蘇西小学校 内牧小学校
熊本市	湖東中学校 東野中学校 錦ヶ丘中学校 西原中学校 東町中学校 長嶺中学校 二岡中学校 桜木中学校 東部中学校 画図小学校 健軍小学校 尾ノ上小学校 秋津小学校 泉ヶ丘小学校 若葉小学校 西原小学校 東町小学校 桜木小学校 託麻北小学校 託麻西小学校 託麻東小学校 月出小学校 健軍東小学校 長嶺小学校 託麻南小学校 山ノ内小学校 桜木東小学校
上益城	小坂小学校 滝尾小学校 嘉島西小学校 木山中学校 甲佐中学校 龍野小学校
宇城	不知火小学校 松橋中学校
県立	済々黌高等学校 熊本高等学校 第一高等学校 第二高等学校 熊本商業高等学校 熊本工業高等学校 熊本農業高等学校 熊本西高等学校 熊本北高等学校 東稜高等学校

平成30年度 (2018年度)

地区	寄贈校
菊池	西合志南中学校 合志小学校 南ヶ丘小学校 美咲野小学校 大津南小学校 菊陽南小学校
阿蘇	阿蘇中学校 一の宮小学校 山西小学校
熊本市	楠中学校 武蔵中学校 龍田中学校 下益城城南中学校 龍田西小学校 弓削小学校 龍田小学校 武蔵小学校 楠小学校 榎木小学校 田迎南小学校 杉上小学校 隈庄小学校 帯山小学校 帯山西小学校 砂取小学校 出水南小学校 出水南中学校
上益城	御船中学校 木倉小学校 七滝中央小学校 高木小学校 嘉島中学校 津森小学校 益城中学校 広安小学校 乙女小学校 白旗小学校 甲佐小学校
宇城	豊福小学校 当尾小学校
県立	湧心館高等学校 熊本豊学校 盲学校 熊本支援学校 熊本かがやきの森支援学校 御船高等学校 大津高等学校 翔陽高等学校 高森高等学校 阿蘇中央高等学校



甲佐町立乙女小学校 御船町立木倉小学校 阿蘇市立阿蘇中学校 熊本県立高森高等学校

昨年と今年の寄贈校の写真は全てホームページに掲載しています。

お礼文

さて、このたびは図書カードをご寄贈いただき、ありがとうございました。本校における今後の教育、読書活動に充分活用させていただき、ご厚志に添う所存でございます。(熊本県立熊本豊学校 校長 五瀬 浩)

このたびは、本校図書館に、図書カードの寄贈をしていただきありがとうございます。

世の中の変化はめまぐるしく、それに合わせた図書資料の更新にはいつも苦慮しておりますので、大変助かりました。ナイスライの事前学習や、自分の将来を考える資料として大いに活用させていただきます。

(熊本市立武蔵中学校 校長 海津英孝)

伝統文化や芸術の振興 2018年度

日本の伝統文化の振興のため、県かるた協会、日本将棋連盟熊本県支部が行う大会や練習会に会場提供などの支援をしています。

●県かるた協会 主な大会等

4月22日 第42回全国高等学校総合文化祭小倉百人一首部門大会
熊本県予選兼個人戦大会

8月25日 第2回熊本県教育会館杯百人一首かるた交流大会
※毎月1回練習会を行っております。

●日本将棋連盟熊本県支部 主な大会等

- 4月21日 矢倉規広七段指導対局会
- 5月20日 第31回アマチュア竜王戦熊本県予選
- 5月26日 全国中学生選抜将棋選手権大会熊本県予選
- 6月30日 文部科学大臣杯小・中学校将棋団体戦熊本県予選
高校竜王戦熊本県予選
- 10月8日 赤旗名人戦熊本地区予選
- 10月21日 赤旗名人戦熊本県大会
- 11月18日 朝日アマチュア名人戦熊本県予選
- 12月2日 朝日アマチュア名人戦南九州ブロック予選
- 1月14日 全国小学生名人戦熊本県予選
- 2月3日 全国支部名人戦・シニア将棋名人戦熊本県予選
- 2月11日 全国支部将棋対抗戦熊本県予選
- 3月21日 西日本久留米王位戦熊本県予選



昨年の教育会館杯かるた大会の様子



昨年の将棋大会の様子

第2回 熊本県教育会館杯 百人一首かるた交流大会 参加ご案内

- 主催 熊本県教育会館 熊本県かるた協会
- 期日 平成30年8月25日(土) 8時45分開会(午後4時終了予定)
- 会場 熊本県教育会館5階ホール
- 対象 県内小中学生
- 試合形式 3人1組による源平戦(選手3名)
- 参加区分 中学校の部 小学校の部
- 表彰 優勝 準優勝 3位(2チーム)
- 参加料 無料
- 申込 平成30年8月3日(金)まで※詳細は熊本県かるた協会ホームページに掲載



～育児休業者現場復帰支援～ カムバックセミナー

育児休業中の教職員が現場復帰する際に、子どもを抱え大きなストレスを感じていらっしゃいませんか。少しでも不安を解消してスムーズに現場復帰できるように、県教育委員会、公立学校共済組合にご協力いただいて開催します。

- 〈日時〉 11月13日(火) 13:30～16:00
- 〈会場〉 火の国ハイツ(熊本県東区石原2丁目2番28号)
- 〈内容〉 セミナー

- ◎育児等に関する諸制度の活用等について(予定)
- ◎現場復帰に伴う諸手続き等について(予定)

ティータイム

◎質問や情報交換

〈対象〉 公立学校に勤務する教職員で育児休業を取得中または予定の方 70名
※託児もあります(11月13日現在で6ヶ月以上のお子さまを対象とします)

〈申込〉 「教育会館ホームページ」に9月より申込方法を掲載予定
(応募者多数の場合は会館共済加入者を優先いたします)

※お問い合わせは 熊本県教育会館 TEL:096-372-3800 教育文化担当(緒方・福永)まで



平成29年度事業報告(概要)

1. 会館の財政運営

(1)熊本地震に応じた県中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業は、教育会館グループとして申請しました。12月に補助金交付申請書の提出、翌年2月に実績報告書の提出、交付決定通知書が2月末に届きました。今後、調査等が進められ、その後、交付予定です。

(2)会館建設基金(出資金)返済は411人、4,554,000円でした。現在の残額は78,377,000円となりました。

(3)地代家賃は、100%納入されています。

(4)会議室利用は、第4会議室利用再開もあり、全体的に好調です。

(5)保険共済事業の集金手数は、前年より約120万円減の約2,860万円となりました。

(6)厚生情報センター関係のシステム改修及び機器引当を取りました。また基本財産減価償却に約770万円、退職給付に約220万円、記念事業準備に200万円、建物修繕に100万円を引当しました。

(7)公益目的事業は、復興支援事業や共済キャンペーンと連動させて行いました。

2. 管理業務

(1)夜間や休日の管理警備は3名と業務委託契約を結び、会館を常時使用できるようにしています。

(2)安全管理及び設備・備品の保守は、専門業者と保守契約を結び行っています。

(3)建築法の関係で、特定建築物定期点検が平成29年度より始まり、大和設計と契約を結び実施しました。毎年の建築設備・防火設備点検と、3年に1回の建築物点検があります。

(4)火災の未然防止と万一の災害に備えるため、防火対策委員会を4月18日と11月6日に開催し防火管理組織・自衛消防組織を編成、避難訓練を7月5日と11月9日に実施しました。また専門業者による消防設備点検を9月15日と3月7日に実施しました。

(5)個人情報保護については、個人情報保護基本規程に基づき適正な取扱いに努めています。また会員管理は厚生情報センターにて適正に行っています。

(6)教育会館ニュースを7月、1月に発行し、会館の事業及び復興支援への対応等の広報に努めました。また、ホームページを活用し、復興支援も含めた情報の開示と発信に努めました。

3. 福祉共済事業

(1)会館共済I型(遺族生活給付金共済)「介護プラン」「医療プラン」の加入促進は、5、6月に熊本地震復興支援キャンペーンとして実施しました。新規加入者は251名で、前年より本人契約者は59名の増となりましたが、配偶者、子どもを含めた加入者総数は前年より112名の減の9,963名となりました。

(2)死亡・高度障害及び介護、入院保障並びに会館の特別給付金の状況は別表の通りです。

(3)会館共済II型(貯蓄型生涯保障共済)の新規加入は6名で、加入者総数は678名になりました。

(4)傷害プランの新規加入は1名で、加入者総数が108名となりました。

(5)会館共済特別給付の適正・迅速化を図るために、給付審査委員会を毎月2回開催し、半月毎に審査・給付の体制をとっています。

(6)個人保険の団体取扱い、平成29年度9月現在の太陽生命保険は107件、かんぽ生命保険は230件、日本生命保険は61件となっています。

(7)なお平成29年10月1日より個人保険事業は、今後の発展性と連携のため

入は6名で、加入者総数は678名になりました。

(3)傷害プランの新規加入は1名で、加入者総数が108名となりました。

(4)会館共済特別給付の適正・迅速化を図るために、給付審査委員会を毎月2回開催し、半月毎に審査・給付の体制をとっています。

(5)個人保険の団体取扱い、平成29年度9月現在の太陽生命保険は107件、かんぽ生命保険は230件、日本生命保険は61件となっています。

(6)なお平成29年10月1日より個人保険事業は、今後の発展性と連携のため

死亡・高度障害、介護、入院給付金 平成24~28共済年度の推移

平成	キャン年次	死亡・高度障害 給付		介護 給付		入院 給付	
		件数(件)	給付額(円)	件数(件)	給付額(円)	件数(件)	給付額(円)
24年度	28次	12	135,000,000	0	0	182	16,882,000
25年度	29次	11	145,000,000	0	0	172	13,467,000
26年度	30次	12	178,000,000	0	0	156	9,851,000
27年度	31次	7	48,000,000	1	5,000,000	162	11,007,000
28年度	32次	6	92,000,000	0	0	154	10,293,000

※過去最高額 23年度(27次)：死亡・高度障害206,000,000円、入院17,297,000円

特別給付金の給付状況 平成29年4月1日~平成30年3月31日

NO	内 容	給付件数		前年同期
		件数	金額	
1	入院見舞金	5日以上	207件	225件
		30日以上	19件	14件
		60日以上	13件	18件
2	医療プラン・初期入院(1日~4日)	196件	193件	
3	休職見舞金	9件	8件	
4	誕生祝金	107件	114件	
5	退職祝金	150件	152件	
6	満期祝金	55件	47件	
給付 総件数		756件		771件
給付 総額		11,387,000円		11,585,000円

(1)図書寄贈は、熊本地震の被害が大きかった学校の復興支援に役立てていただくこと、寄贈時期も年度初めの5月に早め、50校に訪問、実施しました。これまでの28年間で県内のべ650校に寄贈し、その寄贈総額は3,420万円となりました。

(2)福祉増進のセミナーとしての会館「ヨリガ教室」は6年目を迎え、参加者から好評を得ています。育児休業者現場復帰支援「カムバックセミナー」は11月13日に火の国ハイッで開催し、参加者は51名で、託児は50名でした。

(3)伝統文化や芸能の振興を図る事業として、熊本県かるた協会及び日本将棋連盟熊本県支部の事業への支援を続けています。教育会館を練習会や大会等の会場として利用されています。また「熊本県教育会館杯百人一首かるた交流大会」を8月26日に開催しました。

「教育会館寄席」は、復興支援事業として実施しました。被災地域を中心とした四会場で開催し、とても好評でした。なお、熊本県教育委員会、熊本

4. 教育文化事業

(1)図書寄贈は、熊本地震の被害が大きかった学校の復興支援に役立てていただくこと、寄贈時期も年度初めの5月に早め、50校に訪問、実施しました。これまでの28年間で県内のべ650校に寄贈し、その寄贈総額は3,420万円となりました。

(2)福祉増進のセミナーとしての会館「ヨリガ教室」は6年目を迎え、参加者から好評を得ています。育児休業者現場復帰支援「カムバックセミナー」は11月13日に火の国ハイッで開催し、参加者は51名で、託児は50名でした。

(3)伝統文化や芸能の振興を図る事業として、熊本県かるた協会及び日本将棋連盟熊本県支部の事業への支援を続けています。教育会館を練習会や大会等の会場として利用されています。また「熊本県教育会館杯百人一首かるた交流大会」を8月26日に開催しました。

「教育会館寄席」は、復興支援事業として実施しました。被災地域を中心とした四会場で開催し、とても好評でした。なお、熊本県教育委員会、熊本

(4)平成29年8月より熊本県教職員厚生情報センター事業は、今後の発展性と連携のために、熊本県教職員組合に引き継ぎました。

(5)教育相談事業として「レモンガラス」を毎週火曜日に開設、「くまもと親と子と教職員の教育相談室」への支援を継続しました。また復興支援事業として「夏休み教育・労働相談」を、7月31日から5日間開催しました。5件の相談がありました。

(6)政令市権限移譲に伴う熊本市の教職員の請求・収納は円滑にできています。

(7)センターの主な業務である小中学校関係教職員の加盟団体の利用代金の請求・収納は、順調に運用できています。

(8)個人情報保護の適正管理は、個人情報保護基本規程に基づき行っています。またセキュリティについても規程及び情報セキュリティ方針に基づいて適正運用に努めています。

5. 事務受託事業

(熊本県教職員厚生情報センター)